

# CASE 03

昼光利用を可能にする、美しい光壁

Beautiful luminous wall which can utilize daylight.

## 源吉兆庵 本社ビル

Minamoto Kitchoan Head Office

### 都市の行灯

源吉兆庵は国内外に向けて和菓子の販売を行う岡山県発祥、創業60年の老舗和菓子店である。本社ビルは岡山駅の南側に位置し、1階に店舗、2～3階に美術館を併設した地上9階建て、延床面積約4,200m<sup>2</sup>の複合文化施設である。地上階の店舗部分をセットバックさせ、2～8階のライトアップに注目させることで点灯時に建物全体がふわりと浮いた印象になることを狙っている。2～8階中央部の和紙は堀木エリ子氏がデザインした。日の入り後はビル全体が柔らかく光り、「都市の行灯」として美しい夜景と、歩行を助けるあかりを岡山市民に提供している。



#### ■物件概要

竣工：2013年8月

所在地：岡山県岡山市

施主：株式会社源吉兆庵

設計：株式会社青島設計

施工：戸田建設株式会社

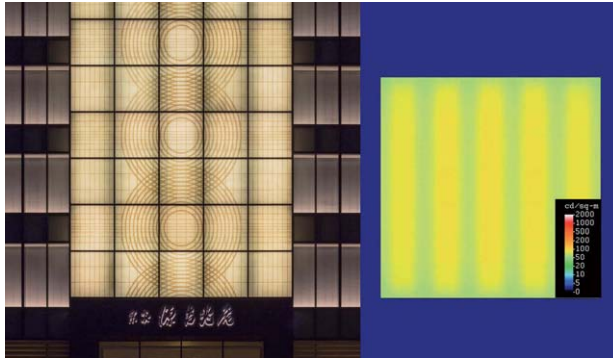
電気工事：株式会社きんでん



**POINT** 和紙を均一に照らし、採光を確保

4～8階を貫通する中央の光壁には縦20m×横10mにおよぶ和紙入り合わせガラスが設置されている。日中は消灯されているこの光壁に夕方光りが入ると、和紙の大胆かつ緻密な柄が描き出される。また室内側は和紙を透過した柔らかい光が入る構成となっている。「美しい光壁」と「昼光利用」を両立するため、下記のような方法が採られた。

**光を操る方法**



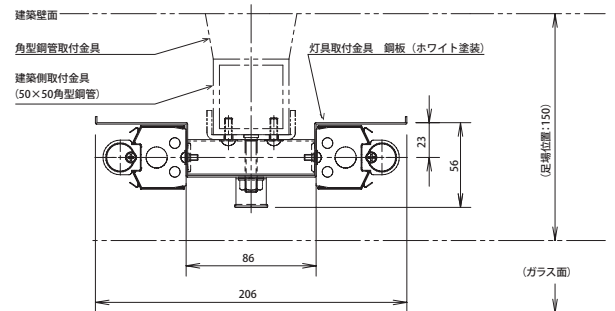
左：ライトアップされた光壁。  
右：輝度が80～120cdになるようにシミュレーションを行った。



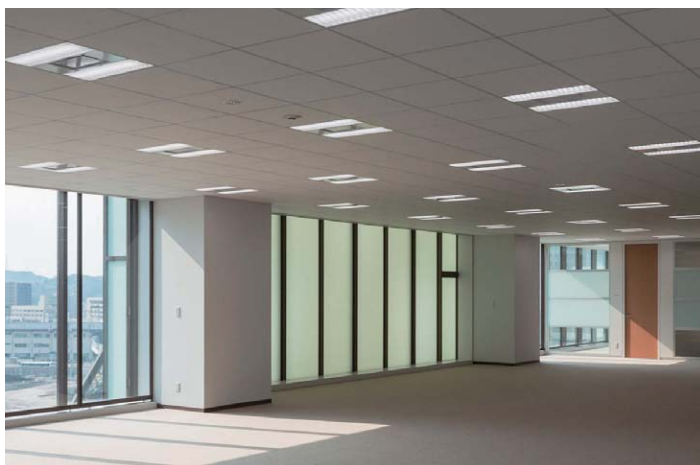
左：2×2mの和紙入り合わせガラス。右：ライトアップの実験。



左：ダクト内に設置された照明器具。架台の影が室内に影響を及ぼさないように、架台をガラス面から8cm程度離している。  
右：独自設計の取付架台と照明器具。垂直方向に2mピッチで配置。



取付金具詳細図 縮尺 1/5  
シームレス建築化照明器具 (FY26910 他、2700K) を左右に1台ずつ取り付けている。



室内側から光壁を見る。取付台の影響はほとんどない。ライトアップ時は室内のブラインドを下ろす設定となっており、光を受ける照射面を簡易に出現させている。これにより、積極的な昼光利用と、夜間のライトアップの両方を実現している。



**實金 寛氏**  
株式会社青島設計  
第二設計室 室長

**ムラのない均一な光を実現**

パナソニックさんとは以前から協働しており、技術的な信頼感がありました。モックアップでの実験を繰り返すことで、省エネを図りつつ、ムラのない均一な光が実現できました。



**酒井 杏子**  
名古屋照明EC